

和歌山工業高等専門学校
令和三年度卒業証書・修了証書・学位記授与式 式辞

本日、ここに、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご列席をいただき、和歌山工業高等専門学校における令和三年度の卒業証書・修了証書・学位記授与式を挙行できますことは、誠に喜ばしい限りです。まずは、平素より皆様から賜っておりますご指導ご支援に対し、厚く御礼を申し上げます。

さて、本科の高度な教育課程を学び終えた百四十六名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、専攻科で更に専門性の高い教育を受け、研究を続けてこられた二十九名の修了生の皆さん、修了おめでとうございます。長い階段を一段一段着実にのぼり、本日の良き日を迎えられました。皆さんの多くは、親元を離れて柑紀寮に入るところから和歌山高専での生活をスタートされたと思いますが、本日の卒業式に至るまでの間、とうとう強い意志をもって困難な勉学をやり遂げられました。大変立派なことだと思います。教職員を代表して、心からお祝いをいたします。

和歌山高専は、県内出身の学生だけでなく、県外出身の学生や、海外からの留学生を含めて、非常に幅広い地域の精鋭人材が集まる、国立の高等教育機関です。その和歌山高専において、皆さんは、教授陣からの厳しい指導を受けながら、濃密なカリキュラムの下で、学習や研究に取り組み、また、クラブ活動や寮生活などを通じて、様々な友人や恩師と交わり、切磋琢磨してこられました。技術者や研究者としての基礎は、間違いなく十分に身につけています。これからは、和歌山高専の卒業生としての誇りと自信をもって、自ら技術者や研究者としての道を切り拓いていって下さい。皆さんのこれからの将来には、大きな可能性が開かれています。

新たな段階に踏み出すに当たり、この和歌山高専で身につけたことを土台に、更に新たな知識や技能を身につけるために、学び続けることをお願いしたいと思います。皆さんを取り巻く社会環境は日々刻々と変化し続けています。社会の情報化や国際化などの潮流は、その方向性が微妙に変わることはあるかもしれませんが、決して止まることはありません。和歌山高専で学んだことを基礎としつつ、先ずはそれぞれの置かれた立場で求められる役割に適応できるよう、学んだ知識や技術を的確に応用するようにして下さい。その上で、幅広い分野に興味と関心を寄せ、目前にはない課題をいち早く見出し、新たな知識や技術を修得して、未知の領域を開拓するなど、将来の課題に対応するための学習や研究を続けていただきたいのです。和歌山高専を卒業・修了することとなる、皆さんのような優秀な人材にとって、継続的な学習と研究は責務であるとさえ言えます。

皆さんの先輩は、卒業後も、技術者や研究者としてたゆみない努力を続けてこられました。その結果として、現在の和歌山高専の高い評価と信用が築かれています。皆さんにも、そうした先輩方に続いていただきたいと思います。そして、優れた実績を上げ、自ら納得のいく素晴らしい人生を切り開き、ひいては、優秀な人材を輩出する学校として、本校の名声を更に高めていただけるものと期待しています。

最後になりますが、和歌山高専を巣立つ皆さんの進む道が、希望と発展の光輝く道となることを祈り、式辞とさせていただきます。誠にありがとうございます。

令和四年三月十七日

和歌山工業高等専門学校長 北風 幸一